

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	16HP2005	事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
質量分析学英文誌の国際発信強化戦略		一般社団法人 日本質量分析学会	会長 高山 光男
学術刊行物の名称			(略称)
Mass Spectrometry			MS

【平成 30 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>小規模の学会でありながら、Mass Spectrometry という英文誌を 2012 年に創刊し、現在も発刊していること、及び、我が国からの情報発信と国際的なビジビリティーを挙げるべく努力していることは評価できる。会員数の減少に苦しみ中、英文誌を発刊・維持するためには相当の努力が必要であり、専任の編集者がいない中での事業推進の厳しさは理解できる。</p> <p>はじめにかなり高い目標を立てて挑戦しているため、現状では、当初数値化された目標を達成することができていないが、直面する実際的な問題についてよく認識しており、新しい取組である MassBank データベースは大きな貢献が期待でき、評価できる。</p> <p>しかし、商業誌の出版社の助けを借りることもやり方の一つであるが、自前の努力をもう少し続ける必要があるのではないか。これまで行っている日本、中国、韓国を除くアジア・オセアニア圏の国で行われる会議の Proceedings の収録は一つの方法であるが、限りがあるため、今後は魅力的なテーマの特集号の発案などを期待する。</p>	